

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	健康科学ジャーナル創刊によせて
作成者（著者）	炭山, 嘉伸
公開者	FD 委員会 研究推進検討会 (東邦大学健康科学部)
発行日	2018.06.30
ISSN	24343838
掲載情報	東邦大学健康科学ジャーナル. 1(1). p.2 2.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	巻頭言
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD16493428

健康科学ジャーナル創刊によせて

学校法人東邦大学
理事長 炭山嘉伸

健康科学部研究推進検討会の企画した第1巻健康科学ジャーナル創刊に向けて、一言お祝いの言葉を述べます。

健康科学部は、佐倉看護専門学校の跡を継ぐべく、数年間の準備期間を経て、昨年4月、本学としては75年ぶりの新学部として誕生致しました。幸いなことに、スタートの年から多くの優秀な学生が志願し入学してまいりました。この健康科学部のある習志野キャンパスは、本学創立90周年事業として、スポーツアリーナ、人工芝グラウンド整備、薬学新棟の建設など、この数年間で教学環境が飛躍的に整いました。薬学部・理学部の学生と同じキャンパスに通い、互いが刺激しあうことで、自然科学を学ぶ学生達は視野を広げ、且つ、学部の垣根を越えた共通教育を通して、ダイバーシティな人間性を養成する素晴らしい教育環境にあります。

更に、大森キャンパスには医学部があり、3つの付属病院を有し、且つ、90年以上の歴史ある看護学部の存在と共に、生命科学を学ぶ健康科学部にとっては、大きな存在価値であります。

このように恵まれた教学環境を有する健康科学部ですが、最も大切な教員の資質をどう担保するか、これが今後の健康科学部の飛躍にとってたいへん重要な視点です。その意味で、この健康科学ジャーナル創刊は、FD、SDから考えても素晴らしい企画であると考えます。このジャーナルへ投稿する原稿条件は、教育研究に居るものであること、また、その知識の発展に貢献する独創性に富む論文であること、あるいは教育の実践報告、活動紹介などとなっています。このことは、ジャーナル創刊の重要性を教育中心においた姿勢が強く感じられ、このジャーナルが健康科学部の教育研究の足場作りとなって、素晴らしい成果を上げることが大いに期待しています。

最後に、このジャーナル発刊に際し、準備いただいた研究推進検討会のメンバーに心から敬意を表します。